

2021 年度 一般社団法人全国フードバンク推進協議会

事業報告書

(1) 政策提言・調査研究

①目的

国内フードバンク団体の支援ニーズを政策に反映させるため、中央省庁や国会議員を対象に政策提言を行う。

②対象

国会議員、中央省庁等

③実施内容

・2021年4月

対象：坂本哲志内閣府特命担当大臣（少子化対策、地方創生）

内容：プレスリリースを行った上で要望書を提出。農林水産省の補助事業に対する要望、孤独・孤立対策におけるフードバンクの活用、経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）への記載について要望。



・2021年6月

対象：NPO議連総会ヒアリング

内容：コロナ禍におけるフードバンク活動の現状と課題について報告。農林水産省の補助事業に対する要望。

・2021年6月

対象：自由民主党 党組織運動本部長 小野寺五典 衆議院議員

内容：コロナ禍におけるフードバンク活動の現状と課題について報告。農林水産省の補助事業、備蓄米の福祉的活用について要望。

・2021年9月

対象：第4回食品ロス削減推進会議

内容：代表理事の米山恵子が委員として出席。現在法律に基づき実施されている施策についてコメント。

・2021年11月

対象：消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室

内容：食品ロス削減推進室に日本フードバンク連盟と共同で要望書を提出。賞味期限切れ食品の活用に対する懸念点について申し入れ。



・2021年11月

対象：自由民主党 NPO・NGO 関係団体委員会におけるヒアリング

内容：備蓄米の活用、フードバンクの基盤強化（食品の保管、運搬、配布能力の向上）について要望。

・2021年12月

対象：公明党 竹谷とし子参議院議員（超党派「食品ロス削減及びフードバンク支援を推進する議員連盟」事務局長）

内容：備蓄米の福祉的活用について要望。

・2022年2月

対象：孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立総会

内容：深刻化する社会的な孤独・孤立の問題について総合的な対策を推進するため内閣官房に、孤独・孤立対策担当室が設置されている。また、孤独・孤立対策官民連携プラットフォームが2月25日に発足。全国フードバンク推進協議会は幹事団体として参画。

・2022年2月

対象：第5回食品ロス削減推進会議

内容：認定NPO法人フードバンク山梨理事長として米山恵子が出席。推進会議の中で、食品ロス削減推進大賞等の受賞企業・団体について報告があった。

(2) 第1回「フードバンクこども応援全国プロジェクト」

①目的

加盟フードバンク団体との連携により全国的な食料支援活動を行うことで、給食のない夏休み期間中の子ども達への支援を拡充する。

②実施内容

- ・実施時期：2021年7月中旬～8月末
- ・参加加盟フードバンク：全国22団体
- ・支援世帯：延べ14,000世帯

(3) 第2回「フードバンクこども応援全国プロジェクト」

①目的

加盟フードバンク団体との連携により全国的な食料支援活動を行うことで、給食のない冬休み期間中の子ども達への支援を拡充させる。

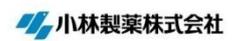
②実施内容

- ・実施時期：2022年12月中旬～1月
- ・参加加盟フードバンク：全国24団体
- ・支援世帯：延べ10,600世帯





◆協賛企業様



◆プロジェクト参加団体への助成について

食の支援を必要とする子どもたちに、より多くの食品を届けることを目的として、プロジェクトに参加する加盟フードバンク団体が負担する食料支援に係る配送費用に対して助成を行うため、クラウドファンディングを実施。

目標：300万円

クラウドファンディング実施期間：2021年11月10日～12月20日

結果：目標を達成（330万円の寄付）

(4) 食品企業開拓及びマッチング

①目的

各地のフードバンク団体に寄贈食品を提供することで、最終受益者への食料支援を拡充する。

②実施内容

食品企業に対して食品の寄贈依頼を行う。また、企業からの寄贈食品は全国各地の加盟フードバンク団体とマッチングし、提供する。

③実施期間

通年

④寄贈実績

項目	2019 年度実績	2020 年度実績 (前年比)	2021 年度実績 (前年比)
延べ寄贈企業数	64 社	122 社 (1.91 倍)	167 社 (1.37 倍)
合計寄贈重量	120.25 トン	272.82 トン (2.27 倍)	327.3 トン (1.20 倍)
延べ提供先フードバンク 団体数	494 団体	1,125 団体 (2.28 倍)	1,296 団体 (1.15 倍)
食品寄贈 1 回当たりの 平均寄贈重量	1.88 トン	2.26 トン (1.20 倍)	1.96 トン (0.87 倍)
食品寄贈 1 回あたりの平均 提供先フードバンク団体数	7.72 団体	9.22 団体 (1.19 倍)	7.76 団体 (0.84 倍)

※寄贈企業の一覧情報は別紙参照

(5) 休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援 助成の実施

①目的

新型コロナウイルス感染症の影響により急増する生活困窮世帯に対してフードバンク等の食料支援を行う団体が、行政や社会福祉協議会、子ども食堂などと

連携して実施する食料支援活動の地理的・数量的な拡大をめざし、スタッフの雇用や、食品取扱量増加に向けたインフラ整備、その他助成事業の実施に必要な経費を助成。

②助成金額

1 団体当たり：上限 410 万円

総額：2,870 万円（7 団体への助成）

(6) 令和3年度厚生労働省ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業の活用

①目的

フードバンク団体等の食品の支援活動を行う団体に対して、食品の提供及び配布能力の向上に向けたインフラ整備を支援ことによって、新型コロナウイルス感染症の影響により困窮するひとり親世帯などへの食料支援活動を拡充する。

②助成内容

支援が決定した40の食料支援団体に缶詰、乾麺（パスタ等）、レトルト食品等の2～3種類の食品と冷蔵・冷凍・生鮮食品を運搬するための多機能断熱ボックスを提供。

◆支援団体一覧（40 団体）

	団体名
1	フードバンク道南協議会
2	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
3	特定非営利活動法人ワーカーズコープぽっけ フードバンクとまこまい
4	特定非営利活動法人 フードバンク岩手
5	NPO 法人 FUKUSHIMA いのちの水
6	NPO 法人 Happy リレーいろいろ

	団体名
7	特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン
8	フードバンク府中
9	フードバンク立川
10	フードバンクふじさわ
11	認定 NPO 法人フードバンク渋谷
12	特定非営利活動法人フードバンク湘南
13	フードバンクさど
14	フードパントリー北区
15	特定非営利活動法人フードバンクにいがた
16	特定非営利活動法人ピーカブー
17	フードバンクかしわざき
18	特定非営利活動法人 NPO さんじょう
19	フードバンクかも
20	フードバンクみつけ
21	認定特定非営利活動法人くびき野 NPO サポートセンター
22	フードバンクあが
23	認定 NPO 法人フードバンク山梨
24	特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州
25	特定非営利活動法人のわみサポートセンター
26	特定非営利活動法人東三河フードバンク
27	フードバンクかすがい

	団体名
28	特定非営利活動法人フードバンク京都
29	NPO 法人 Happyam
30	フードバンクせとうち
31	順正デリシャスフードキッズクラブ (学校法人 順正学園ボランティアセンター)
32	認定 NPO 法人ハーモニーネット未来
33	フードバンクとっとり
34	一般社団法人高知あいあいネット・フードバンク高知
35	認定 NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン
36	特定非営利活動法人フードバンクさが
37	一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき
38	社会福祉法人南苑会 フードバンク熊本
39	財部町身体障害者協議会 (フードバンクそお)
40	特定非営利活動法人てしおて

◆支援物資の活用状況

特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州



NPO 法人てしおて



NPO 法人フードバンクさが



NPO 法人フードバンク湘南



以上